

# KOSUKE KITAJIMA CUP 2025 招待選手追加要項

## 1 競技について

- (1) 本競技会は、2024年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は、予選・決勝とも10レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 予選は区分に関係なく全区分で行う。
- (4) 決勝およびスキンレース（第1ラウンド）は、予選の結果上位10名が出場できる。なお、棄権者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。
- (5) B決勝は決勝進出者を除く予選上位10名を対象とする。なお、棄権者または決勝への繰り上げ出場者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。ただし、小学生決勝実施種目は小学生を対象としない。
- (6) C決勝の出場は以下を条件とする。
  - 【小学生決勝がない種目】  
決勝・B決勝進出者を除く予選上位10名の高校生・中学生・小学生を対象とする。
  - 【小学生決勝がある種目】  
決勝・B決勝進出者を除く予選上位10名の高校生・中学生を対象とする。
- (7) 小学生決勝は、決勝進出者を除く小学生の予選上位10名を対象とする。小学生決勝は、50m・100m・200m自由形、50m・100m背泳ぎ、50m・100m平泳ぎ、50m・100mバタフライ、200m個人メドレーのみ実施する。これ以外の種目は小学生決勝を行わないが小学生が出場することはできる。なお、棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (8) 400m種目のC決勝、800m・1500mのC決勝・B決勝は行わない。また、男子800m自由形および女子1500m自由形はタイムレース決勝とする。
- (9) 50m種目の決勝は、3ラウンド制のスキンレースとする。ただし、小学生はスキンレースに進出できない。スキンレースの詳細は別途定める。
- (10) 決勝進出およびスキンレース（第1ラウンド）において、同記録で定員を超えた場合は、スイムオフを行う。ただし、400m以上の種目は抽選とする。スイムオフおよび抽選は、該当の予選ランキング発表後15分以内にリゾリユーションデスクにて選手本人または所属責任者の立会いのもと抽選または実施時刻を決定する。なお、15分以内に集合しない場合は決勝進出を辞退するものとみなす。スイムオフまたは抽選を辞退した選手は、決勝進出の補欠には該当しない。
- (11) B決勝・C決勝・小学生決勝進出において、同記録で定員を超えた場合は、抽選で優先順位を決定する。抽選は、予選競技のランキング表示後15分以内にリゾリユーションデスクにて行う。なお、15分以内に該当選手または所属責任者が集合しない場合は、抽選の権利を失う。抽選の権利を失った選手は、決勝進出の補欠には該当しない。
- (12) 補欠は2名とする。補欠が同記録で定員を超えた場合は抽選を行う。
- (13) エントリー数が10名以下の場合でも予選競技を行う。
- (14) 招集は競技開始20分前から行う。本人確認のために、招集所にはADカードを持参すること。招集所受付で水着の確認を行う。
- (15) 予選を棄権する場合は、実施当日の8時30分までに棄権届出用紙をリゾリユーションデスクに提出するか、電子メールにて添付送信すること。指定時刻までに棄権届出用紙の提出がない場合は棄権料として1種目につき3,000円を徴収する。メール送信の場合の送信先：oc@tokyo-swim.org
- (16) 決勝（スキンレースを含む）および小学生決勝・B・C決勝の棄権はできない。やむなく棄権を希望する場合は、該当予選競技終了後30分以内にリゾリユーションデスクに1種目につき3,000円の棄権料を添えて決勝棄権届出用紙を提出すること。
- (17) すべての競技において無断で棄権した場合は、棄権料とは別に1種目につき3,000円の罰金を徴収する。
- (18) 棄権料・罰金に関して、当該選手が所属する団体は連帯してその責務を負う。
- (19) 決勝以外の競技のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水する。50m種目、背泳ぎおよび各種目最終組は、

完泳後速やかに自レーンより退水すること。決勝は横退水とする。ただし、競技の進行状況によって退水方法を変更する場合がある。

- (20) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自で行い、確実に固定されていることを確かめること。背泳ぎにおいてバックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。
- (21) 800m・1500m自由形における周回通知は、水中ラップカウンターに表示し、コールは行わない。
- (22) 予選は組のみの紹介、小学生決勝・B決勝・C決勝は各レーンで紹介、決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。
- (23) 選手は退水後、係員の指示に従いミックスゾーンを通過して退場すること。決勝の優勝者はフラッシュインタビューを実施する場合がある。また、取材要請がある場合は、ミックスゾーンにてインタビューを実施する場合がある。
- (24) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし、治療目的の場合は事前にテーピング許可願をリゾリレーションデスクに提出し審判長の許可を得ること。

## 2 表彰について

- (1) 決勝競技終了後、各種目1位～3位にメダルを授与する。(スキンレース・小学生決勝は除く)
- (2) 小学生決勝競技は各種目終了後、1位～3位に賞状を授与する。
- (3) スキンレースは1位～3位にメダルを授与する。ただし、授与式は優勝者のみとする。
- (4) 最優秀選手(男女各1名)・優秀選手(学種別・男女別各1名)を決勝におけるWAポイントによって選考する。世界記録・日本記録を樹立した選手には追加ポイントを与える。ただし、最終日の優秀選手表彰式に出席できない選手は選考対象外とする。
- (5) 最終日の全競技終了後に優秀選手表彰式を行う。

## 3 賞金について

- (1) 世界新記録を樹立した者に賞金100万円を授与する。
- (2) 日本新記録を樹立した者に賞金10万円を授与する。
- (3) 最優秀選手に賞金50万円を授与する。
- (4) 決勝競技各種目優勝者に5万円を授与する。
- (5) スキンレースの賞金は以下のとおりとする。
  - ①第2ラウンド進出者に2万円を授与する。
  - ②第3ラウンド準優勝者に5万円を授与する。
  - ③第3ラウンド優勝者に10万円を授与する。

## 4 ADカードについて

- (1) ADカードは来場時に招待選手受付で受けとること。
- (2) チームスタッフADは招待選手1名につき2枚発行する。スタッフADが不足する場合は事前連絡により追加発行する。
- (3) 選手ADカードは記名されている選手専用とし他者への流用は認めない。
- (4) 会場内では常時ADカードを携帯すること。

## 5 開場・入館について

- (1) 大会期間中(24～26日)は、7時00分に開場する。(公式練習日は12時45分に開場)
- (2) 入退場は、関係者通用口(1F西口)とする。(別紙「会場図」を参照)

## 6 招待選手専用控え場所および更衣室(別紙「会場図」を参照)

- (1) 招待選手控え室を利用できる。(公式練習日を含む)
- (2) 観覧スタンドにコーチ席(共用)を設置する。コーチを含むチームスタッフが利用できる。
- (3) 控え場所は、自己責任にて荷物を残置できる。
- (4) 一般のスペースに場所取りを希望する場合は、担当者にご相談すること。

(5) 更衣はサブプール更衣室をご利用すること。ただし、更衣室内での飲食と休憩は禁止する。

7 プールの使用について ※混雑状況によって変更する場合がありますので当日は係員の指示に従うこと。

(1) メインプール

- ① 水深 3m、水温 28.0 度に設定する。
- ② ウォーミングアップは、競技開始 15 分前までとする。
- ③ ウォーミングアップ時の 0 レーンは折返し側から、9 レーンはスタート側からのダッシュレーンとする。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。また、1 レーンはペースレーンとする。
- ④ パドル・コード類の使用は禁止する。
- ⑤ 決勝前のウォーミングアップは、当日の指示に従うこと。
- ⑥ 練習中はホイッスルの使用を認める。

(2) サブプール

- ① 水深 3m、水温 28.5 度とする。
- ② 1 レーンはダッシュレーン、10 レーンは招待選手専用とする。
- ③ パドルの使用は禁止する。
- ④ 混雑時はコードの使用を禁止する。

(3) ダイビングプール

使用できない

8 トレーナーブースの設置について

招待選手控室内に専用トレーナーブースを設置する。(トレーナー2名を配置) 利用希望はトレーナーと直接相談すること。

※独自にベッドを設置希望の場合は、担当者に連絡すること。

9 抗議

- (1) 本競技会は上訴審判団を設置する。
- (2) 競技に関する抗議は、事象発生後 30 分以内にその団体の監督または代表者が抗議書に必要事項を記入の上、抗議料 50,000 円(1 種目あたり)を添えてリゾリューションに提出すること。

10 公式練習について

(1) 1 月 23 日(木) 13 時から 16 時 30 分まで大会会場で練習できる。

※メインプールのみ使用可能

- (2) 入退場方法は「6 入退場について」に準ずる。(開場時刻 12:45/最終入場 16:30 まで)
- (3) 入場は、選手・チームスタッフ AD カード所持者のみとする。一般の入場はできない。
- (4) 更衣はメインプール更衣室を利用すること。ただし、ロッカーの使用(荷物の収納)はできない。
- (5) 荷物は個人またはチームの責任で管理すること。
- (6) プール利用方法は電光表示板に掲示する。
- (7) メインプールおよび更衣室以外のエリアは立ち入り禁止とする。
- (8) プールサイドは一部設営作業を行っているので注意すること。

11 監督者会議について

監督者会議は行わない。

12 取材について

決勝レース後にフラッシュインタビューおよびミックスゾーンでの取材を要請する場合がありますのでご協力ください。

## 12 放送・配信について（予定）

- (1) CS 日テレジータスで決勝競技をライブ放送する。（1月24日、25日のみ）
- (2) YouTube「かわずちゃんねる」で競技終了後に全競技を録画配信する。  
<https://www.youtube.com/channel/UCKXDgeqAtqJwupKbIJStFKQ>

## 14 競技結果（速報）およびスタートリストについて

- (1) 会場内で競技結果の掲示は行わない。
- (2) 競技結果および決勝スタートリストはプログラム番号ごとに速やかにインターネットに公開する。

## 15 その他

- (1) 大会期間中に発生した事故・傷病・感染症は、自己または保護者の責任において対処すること。
- (2) 悪天候・自然災害または感染症流行等により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場取消しとなった場合でも申込金は返金しない。
- (3) 公益財団法人日本水泳連盟および公益財団法人東京都水泳協会が定める規則等を遵守すること。
- (4) プールサイドは室内履きに限り使用を認める。
- (5) 忘れ物はリゾリユーションまたは受付にて保管する。最終日競技終了後、破棄する場合がある。
- (6) 貴重品は各団体の責任において管理すること。
- (7) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。
- (8) 駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑になることがあるので控えること。
- (9) 水泳場前や近隣での路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。悪質な場合は、警察と連携し対応する。

## 16 大会実行委員会

公益財団法人東京都水泳協会 03-5422-6147（平日 10 時～17 時）

招待選手対応担当者 内田孝太郎 090-1883-1997 / [uchida@tokyo-swim.org](mailto:uchida@tokyo-swim.org) /

